

令和3年度防府市産業戦略本部 第1回会合 議事録等

■開催日時・場所

令和3年9月29日（水）午後6時00分から
防府市役所1号館3階南北会議室

■次第

- 1 開 会
- 2 議 題
防府市の産業を活性化する提案等
 - ・新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・デジタル化推進について
 - ・カーボンニュートラル推進について
- 3 その他
- 4 閉 会

■配布資料

	資料名	番号
1	第5次防府市総合計画「輝き！ほうふプラン」概要版	—
2	新型コロナウイルス感染症対策関連予算の概要（地域経済対策の抜粋）	【資料1】
3	デジタル化推進の取組	【資料2】
4	カーボンニュートラル推進の取組	【資料3】

■出席者名簿

敬称略・順不同

種別	所属団体・役職	名前	出欠	
本部長	防府市長	池田 豊	出席	
本 部 委 員	大企業	マツダ株式会社 防府工場 総務部長	広政 利雄	出席
		株式会社ブリヂストン 防府工場 総務課長	後藤 淳	欠席
		協和発酵バイオ株式会社 山口事業所防府 総務課長	大山 弘	出席
		東海カーボン株式会社 電極製造所 副所長	野畑 光晴	出席
		株式会社丸久 代表取締役 副社長	清水 実	出席
	中小企業	王子ゴム化成株式会社 管理本部次長	尾高 盛巨	出席
		東山口信用金庫 本店 本店長	守田 誠	出席
		大村印刷株式会社 取締役営業統括副本部長兼本社営業本部長	黒川 紀文	出席
		有限会社周防タクシー 代表取締役	新原 耕由	欠席
		アボンコーポレーション株式会社 代表取締役	松村 憲吾	出席
		光浦醸造工業株式会社 代表取締役	光浦 健太郎	出席
		フラワースペース Co-co 代表	森本 幸代	出席
	関係団体	防府商工会議所 会頭	喜多村 誠	出席
		天神町銀座商店街振興組合 理事長	種田 正幸	出席
事 務 局	本部員	総合政策部 部長	石丸 泰三	
		地域交流部 部長	能野 英人	
		産業振興部 部長	白井 智浩	
		土木都市建設部 部長	石光 徹	
	庶 務	総合政策部 部次長	高橋 光男	
		総合政策部 政策推進課 課長	松田 伸一	
		総合政策部 政策推進課 課長補佐	大村 雅俊	
		総合政策部 政策推進課 企画政策係長	古谷 勝也	
		総合政策部 政策推進課 企画政策係 主任	國貞 裕司	
		総合政策部 政策推進課 企画政策係 主任	宗岡 孝俊	
総合政策部 政策推進課 企画政策係 主任主事	梅本 さゆみ			

■会議録

1 開 会

市長（本部長）挨拶

2 本部委員紹介

（事務局から出席委員の紹介）

3 防府市の産業を活性化する提案等について

- ・総合政策部長から、これまでにいただいた意見等の総合計画への反映状況、新型コロナウイルス感染症対策関連予算の概要、デジタル化推進の取組、カーボンニュートラル推進の取組の説明
- ・本部長から中心市街地活性化の取組状況の説明

4 各本部委員による意見

本部長	まずは、コロナ対策に関する意見を伺う。
A委員	ワクチン接種が医療関係者の協力により、円滑かつスピーディーに進んだのは大変良かった。今後も感染症対策の充実を図ってほしい。また、経済対策では、本当に困っている人や事業者へ支援が届くような施策を検討してほしい。
本部長	感染症対策は国・県・市の連携が重要である。その点で、防府市に県立総合医療センターがあるのは大変心強い。先日は県に対し、同センターの機能強化を地元の意向も取り入れながらスピード感をもって進めていただきたいと要望したところ。 経済対策については、国・県・市のそれぞれの役割がある中で、皆様の意見を聴きながら、市が行うべきことはしっかりと対応していきたい。
B委員	工場の生産活動に影響を受けている。政府でのワクチン接種証明やコロナ陰性証明の活用方法の検討結果に期待するとともに、PCR 検査が常時受けられる体制の構築を要望したい。
本部長	国の方針に基づき、しっかりと対応していきたい。
C委員	英雲荘でのオンライン観月会は素晴らしかった。コロナ後の観光客増加を狙い、YouTube 等で防府市の魅力を発信する取組を継続してはどうか。YouTube で検索しやすくなるよう防府市がチャンネルをひとつ用意して、皆さんはそこに投稿するような仕組みがあればよい。インターネットサービスの「いつでもどこでも見れる」という利点を活用した情報発信をしてほしい。

D委員 裸坊等のYouTube オンライン中継を行い、多くの方に見ていただいた。今年もYouTube ライブを企画している。防府市の観光のための宣伝効果を期待している。

本部長 YouTube 等による観光情報の発信は効果的な取組。引き続き、取り組むことにより、コロナ禍を契機に防府市の観光情報の発信が変わったと認識してもらえるようデジタル化の観点からも考えていきたい。

C委員 コロナ禍による海外製品の輸入量減少や高齢花き農家の廃業で、花の流通量が減少している。農家の方には、所得向上につながる高く売れるものを生産してもらいたい。農林業の知と技の拠点には、このような付加価値のある品種の開発をしてほしい。

本部長 続いて、デジタル化推進の取組について伺う。

E委員 市内中小企業に景況感を尋ねるアンケートを実施したところ、人手不足等とともにデジタル化の推進を今後の経営課題に挙げる企業が多かった。こうした企業からは、デジタル関連の設備投資に対する補助制度の充実や相談体制の強化を求める意見やデジタル人材確保の困難さを訴える声があった。このアンケートから多くの中小企業がデジタル化に取り組まなければならない課題と認識していることがわかった。

企業にとっての具体的なメリットをよくPRし、支援を充実させることで、デジタル化を進めてほしい。

本部長 補助制度については、国・県・市の役割の中で、ある程度思い切ったものを示したいと考えている。相談体制については、これからデザインプラザHOFUに整備する創業拠点で機能強化を図っていく。

D委員 以前からデジタル化に取り組んでいるが、現状から事業転換するには至っていない。業種によってはハードルが高い。

F委員 重要なのは、「何をしたいか」を明確し、そのために必要なデジタル技術を活用する流れで進める必要がある。デジタル化について、方法論や技術ばかりが先行しているため、便利になることは理解しているが、活用するまでに至っていないと感じる。

B委員 毎年進歩するデジタル技術に対して、まずは自社のニーズを明確にし、それに必要な技術を活用する方法で進めている。他社に負けられないように新しい技術の活用に取り組んでいく。

- G委員 中小企業からデジタル化に関する投資の相談を受ける際、企業が「何をしたいのか」を見極め、費用対効果が十分に得られるような投資になるよう対応している。
- G委員 進歩するデジタル化についていけない人を取り残さないように対策する必要があると感じている。
- 本部長 デジタル化が進めば進むほど、ついていけない人への対応が重要になると考えている。誰一人取り残さないことが行政では特に大切と考えているため、しっかりと対応していきたい。
- E委員 建設関連等の行政手続きが煩雑であるとよく聞く。デジタル化で解決を図ってほしい。また、これに限らず、様々な行政手続きでデジタル化の推進に取り組んでもらいたい。
- 本部長 建設関連の書類については、デジタルでできることはデジタルでできるようにしたい。現在、県の事業を活用したデジタル化による公民館機能の強化に取り組んでいる。また、建設中の新庁舎のデジタル化にもしっかりと取り組んでいく。
- H委員 転勤に伴う転出・転入手続きでマイナンバーカードを利用したところ、手続きが非常にスムーズであった。きっかけがないとマイナンバーカードを作らない方もいると思うので、持っている大変便利であることや便利な活用方法をしっかりと情報発信してほしい。
- B委員 防府市が実施している企業に出向くマイナンバーカード申請受付サービスは大変ありがたい。
- A委員 行政のデジタル化にとってマイナンバーカードの普及は極めて重要だと思う。引き続き普及に積極的に取り組んでほしい。
- 本部長 引き続きマイナンバーカードの普及率100%を目指して取り組んでいく。
- A委員 民間事業者の取組を後押しするためにも、5G対応等のデジタルインフラの充実を図ってほしい。また、防府市は新庁舎、農林業の知と技の拠点などのインフラ整備に併せてデジタル化を進められる状況。これはとても良いチャンスなので、しっかりとデジタル化を進めてほしい。
- 本部長 デジタルインフラ整備は市単独では難しいため、関係各所に要望し、防府市が遅れることがないようにしていきたい。

- D委員 デジタル化の観点からも市の FAX 利用を見直す必要があると考える。
- 本部長 最後に、カーボンニュートラル推進の取組について伺う。
- I 委員 CO2 排出量削減について高い目標を掲げてグループ企業全体で取り組んでいる。また、敷地を有効活用して太陽光発電設備を設置している。
- B 委員 自社で 2050 年のカーボンニュートラル達成に向けた計画を作成中。令和 4 年には公表できるのではないかと。まずは太陽光発電設備の導入を始めたところ。
- J 委員 海岸清掃活動で回収した海洋プラスチックごみをリユースする取組など、プラスチックのリサイクルに積極的に取り組んでいる。
- H 委員 製造業にとってカーボンニュートラルは、技術開発や電力調達など様々な課題があり、かなりハードルが高い。そこで懸念されるのは、カーボンニュートラルに取り組むためには大きな投資が必要になることで、そのような投資に対して税制面での優遇があると助かる。
- 本部長 税制面でサポートすることは、カーボンニュートラルを進めていくうえで有効と考えているので、国等に対してしっかり要望していく。
- F 委員 脱プラスチック等の機運が高まっているが、プラスチックも含め様々な材料の特徴や環境負荷に応じて、その活用が許容される社会になってほしい。また、地域資源に着目し、地域産業の活性化につながるようなカーボンニュートラルの推進に取り組んでほしい。
- K 委員 環境対策設備に使用される製品も製造している。しっかりとそのことを PR していきたいし、市でも地元企業や製品の PR をしてほしい。
- 本部長 市でも地場企業をしっかりと PR していきたい。
- L 委員 ブルーカーボンを活用した CO2 削減の取組について検討してほしい。また、海水温度上昇に起因すると推定される磯焼け等が発生している。川の水温上昇への対策とともに、海水温度上昇への対応に取り組むことを提案する。

本部長

カーボンニュートラルの達成に向け、市民・企業・行政がそれぞれの役割分担のなかで、しっかりと取り組んでいくことが重要だと考えている。市民の皆様の取組としては、「緑のカーテン」や「植林」等のこれまでの活動が、市民運動として大きく展開していくようにしたいと考えている。

本部長

いただいた意見は令和4年度の予算編成方針に活かしていきたい。

閉会